

# 報 告 書

## 平成 2 4 年 9 月 定例会における議会報告会

開 催 日 時	平成 2 4 年 1 1 月 1 3 日 ( 火 ) PM 7 時 0 0 分 ~ PM 9 時 0 0 分					
開 催 場 所	金磯会館					
出 席 議 員	出口 憲二郎	北野 恒男	宮崎 欽司	武田 清	杉本 勝	天羽 篤
	安平 剛之	吉見 勝之	前川 英貴			
	司 会 者	井村 保裕		記録・報告者	片田 真弓	
	受 付	大木 進				
参 加 人 数	2 1 名					
	陳情第 7 号について反対議員がいるが、その理由は何か。					
	大型バスをやめて、ワゴン車を導入をしてはどうか。					
	市内の商店が潤うためにも、市内を循環させて、市内で買い物ができるようにしてほしい。					
	高齢者のためのバスを走らせてほしい。					
	企業会計で、どこまで赤字に対する補てんができるのか。議会としての考えはどうか。					
	歩行者や自転車は、排気ガスや風圧を受けて危険なので、小型バスに変更できないか。					
	平成 2 1 年から防災対策に取り組んでいるが、小松島市の防災は他市より立ち遅れている。					
	東日本大震災を踏まえて、本市での震災への取り組みに対する変化はどうか。					
	まちづくりで、金磯町の道路と側溝の整備ができていない。側溝がつながっていない。					
	いざと言うとき、赤石山や旗山までの避難は無理。金磯に安全な公共施設をつくってほしい。					
	側溝の管理について、水利組合と協議会と行政で話し合い、改善してほしい。					
	議員として、もっと現場と現状を把握してほしい。					
	防災無線の整備に対する進捗状況はどうか。					
	震災時、重油タンク等の耐震は心配ないか。					
	議会議員政治倫理条例がありながら、議員としての倫理はどうか。					
	これからも地方議会の先進性を進めてほしい。頑張ってください。					
	以前に入札に対する談合のうわさがあったが、どうなったのか。					
	議会として、二つの大事な使命がある。行政のチェック機能を充実し、答えを出すべき。					

小松島市議会議長 様

平成 2 4 年 1 1 月 1 9 日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

大木 進 印

---

井村 保裕 印

---

片田 真弓 印

---